

SPF の検証が失敗してもメッセージが送信されるのはなぜですか。

目次

[はじめに](#)

[SPF の検証が失敗してもメッセージが送信されるのはなぜですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は送信側政策の枠組 (SPF) 検証が失敗する時でさえ電子メール メッセージがなぜに関して提供されるか説明を提供したものです。

SPF の検証が失敗してもメッセージが送信されるのはなぜですか。

SPF はドメインからの着信メールがそのドメインの管理者が承認するホストから送信されていることを確認するためにメール エクスチェンジャを受け取ることを割り当てるようにメールをスプーフィングすることを検出するようにメカニズムの提供によって設計されている簡単なメール 検証システムです。

Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) で、SPF 確認はメール フロー ポリシーのすべての着信メッセージのためにイネーブルになっています。 SPF 確認が失敗した場合メッセージを検疫するか、または廃棄する検疫の操作を用いる条件 SPF 確認および spf ステータス == 「失敗」を使用したコンテンツ フィルタ 存在、:

メール ログかメッセージ トラッキングは次の詳細を示します:

```
Thu Aug 20 17:27:37 2009 Info: MID 6153849 SPF: helo identity postmaster@example None
Thu Aug 20 17:27:37 2009 Info: MID 6153849 SPF: mailfrom identity
user@example.com Fail (v=spf1)
Thu Aug 20 17:28:15 2009 Info: MID 6153849 SPF: pra identity user@example.com
None headers from Thu Aug 20 17:28:15 2009 Info: MID 6153849 ready 197 bytes
from <user@example.com>
```

ただし、メッセージは普通処理され、提供されます。

SPF ステータス識別チェックには 3 つの型があります:

1. spf ステータス (「mailfrom」) 識別
2. spf ステータス (「pra」) 識別
3. spf ステータス (「ヘリコプター」) 識別

メッセージ フィルターだけ「ヘリコプター」、 「MAILFROM」、および「PRA」 識別に対して

SPF ステータス ルールをチェックできます。

コンテンツ フィルターでは、PRA 識別結果だけチェックされます。同じようなメッセージ フィルターはこのようになります:

```
if (spf-status("pra") == "Fail") AND(spf-status("mailfrom") == "Fail") AND  
(spf-status ("helo") == "Fail")
```

メッセージ フィルターはでコンテンツ フィルターはこと多くのオプション持っていないが検疫するかどのような SPF 評決ユーザーのニーズ粒状にします。

AsyncOS アドバンスド ユーザー ユーザーズ ガイドから奪取される 次のメッセージ フィルタは異なる識別のために別の SPF ステータス ルールを使用します:

```
quarantine-spf-failed-mail:  
if (spf-status("pra") == "Fail") {  
  if (spf-status("mailfrom") == "Fail") { quarantine("Policy");}  
  else {  
    if(spf-status("mailfrom") == "SoftFail") { quarantine("Policy")}  
  }  
} else {  
  if(spf-status("pra") == "SoftFail"){  
    if (spf-status("mailfrom") == "Fail" or spf-status("mailfrom") == "SoftFail")  
    { quarantine("Policy");}  
  }  
}
```

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)